

(別紙)

『^{かみやど}神宿る島』^{むなかた}宗像・沖ノ島と関連遺産群』にかかる決議概要

(1) 記載の可否と評価基準

- 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を、評価基準(ii)及び(iii)に基づいて世界遺産一覧表に記載する。
- 暫定的な顕著な普遍的価値の言明に留意する。

(2) 追加的勧告

- 締約国が以下について検討するよう勧告する。
 - a) 「保存活用協議会」を設立し、資産の所有者代表を参画させること。
 - b) 他の関係者の役割及び彼らによる管理体系を明確化し、資産の管理において彼らが効果的に共同できるようにすること。
 - c) 洋上または陸上における風力発電施設の建設について、「適切に制限されている」とするだけでなく、資産範囲及び緩衝地帯、さらには資産範囲外であっても構成資産の視覚的完全性に影響を及ぼしうる範囲において、完全に禁止すること。
 - d) 遺産影響評価の手法を管理システムに組み込むこと。
 - e) 計画中の開発事業のうち、資産のOUV及び属性に影響を及ぼしうるものについては遺産影響評価を行い、その結果について世界遺産委員会及びイコモスにおいて検討できるよう、事業の承認及び着手にかかるあらゆる最終決断が行われる前に報告すること。
 - f) 緩衝地帯の東南角に位置する山体について、山頂を緩衝地帯内に含むこと。
 - g) 沖ノ島に対する違法な上陸及び船舶の接近の増加が懸念される点について考慮すること。
 - h) 締約国及び関係国間で、交易、航海、及び信仰に関する研究を継続・拡充させること。